

News Release

DTC、世界的 3D プリンターメーカーの 3D SYSTEMS と日本国内での協業を開始

製造業・物流業における 3D プリンターの導入を短期に実現する「3D プリンター適合性診断プログラム」により、日系企業のエクスポネンシャル(指数関数的)な成長を支援

デロイトトーマツコンサルティング合同会社(本社:東京都千代田区 代表取締役社長:近藤 聡、以下 DTC)は、3D プリンター業界を牽引し続けてきた世界的なリーディングカンパニーである米国 3D Systems 社の日本法人である株式会社スリーディー・システムズ・ジャパン(代表取締役社長:アンドリュー・M・ジョンソン、本社:東京都渋谷区 以下 3D Systems)と「3D プリンターを用いた経営改革」領域における協業を開始します。

今回の協業では、3D SystemsとDTCは、両社それぞれの強みを組み合わせた共同ソリューション「3D プリンター適合性診断プログラム」を開発し、主に製造、物流業界の日系企業における 3D プリンターを用いた経営改革による収益性の向上によりエクスポネンシャルな成長を支援します。

【協業の背景と狙い】

現在、製造・物流業においては、グローバル競争環境の変化、及び顧客ニーズの多様化により収益性が低下し、AI・IoT・ドローン・3D プリンターといったニュー・テクノロジー導入を梃子にして競争力を高める動きが活性化しています。特に 3D プリンターについてはバリューチェーンを劇的に変貌させる可能性から注目を集めています。日本においてその導入は開発・設計分野が中心となっており、量産製造品・アフターマーケットパーツなど下流分野への適用には至っていません。

一方、欧米先進企業においては、収益性の高いアフターマーケットパーツにおいて 3D プリンターによる製造が実用化され、マス・カスタマイゼーションやスマートファクトリーの実現に向けて着実に先行する立場を築いていることから、日系企業の相対的な競争力の低下が懸念されています。そこで、日本の製造・物流業において収益性の高いアフターマーケット領域において 3D プリンターを導入し、グローバル競争力を獲得するとともに、インダストリー4.0による競争環境の激変にすぐにも備える必要があります。

しかしながら、3D プリンター導入実現に向けては、造形・素材等の技術的な側面での専門性とサプライチェーンモデルの刷新によるオペレーション変革の豊富な知見・経験を融合して、推進する事が求められます。その点において、3D Systemsは、素材・造形などの技術面でのノウハウを有し、DTCは製造業における業務改革のためのコンサルティングサービスに多くの実績と経験を持ちます。両社はサプライチェーン変革を含めたアフターマーケット戦略の分野において、すでに多くのクライアントとの成功体験を共有しています。今回の協業により、両社のクライアント企業での早期の変革実現の支援を進めてまいります。

【「3D プリンター適合性診断プログラム」について】

今回両社で共同開発したソリューション、「3D プリンター適合性診断プログラム」は、本日付をもってサービス提供を開始します。当プログラムでは、オペレーション変革、ビジネスモデル変革の梃子となる 3D プリンターを保守・アフターマーケット分野で導入する場合の技術面・オペレーション面での適合性を評価し、適合の可能性がある商品・部品について実証検証を通じたスピーディーな実運用立ち上げのご支援いたします。また、3D プリンターがもたらす金型レス化や供給リードタイム削減など導入効果の試算を行い、アジャイル型アプローチで迅速に立ち上げる事により、戦略始動速度を大幅に高めます。

DTC では日本企業が自ら新たな市場創造をリードし、指数関数的(エクスポネンシャル)な成長を実現するためのプラットフォームとして10月に立ち上げた「デロイト エクスポネンシャル」が本ソリューションを提供します。

【スリーディー・システムズ・ジャパン について】

米国サウスカロライナ州に本社を置き、3D プリンター業界を牽引し続けてきた世界的なリーディングカンパニー、3D Systems 社の日本法人。3D Systems 社は1987年に設立者のチャック・ハルが、世界に先駆けて光造形装置を製品化して以来、独自の技術を搭載した3Dプリンターを世に発信し続け、光造形・樹脂粉末焼結・金属粉末焼結などの幅広いラインアップに加え、自社開発の多種多様な材料・ソフトウェアの供給を通して、様々な業種業界において生産性向上、ものづくり革新に大きく寄与しています。

会社名 : 株式会社スリーディー・システムズ・ジャパン

所在地 : 東京都渋谷区恵比寿 4-20 恵比寿ガーデンプレイスタワー27F.

代表者 : 代表取締役社長: アンドリュー・M・ジョンソン

設立 : 2002年

事業内容: 3Dプリンター、ラピッドプロトタイピング(積層装置)システムと関連造形材料、ソフトウェアの研究、開発、販売および保守サービス

URL : <http://www.3dsystems.co.jp/>

【デロイト トーマツ コンサルティング について】

デロイト トーマツ コンサルティング(DTC)は、国際的なビジネスプロフェッショナルのネットワークであるDeloitte(デロイト)のメンバーである、デロイト トーマツ グループの一員として日本のコンサルティングサービスを担い、提言と戦略立案から実行まで一貫して支援するファームです。クライアントの持続的で確実な成長を支援するコンサルティングサービスはもちろん、社会課題の解決と新産業創造でクライアントと社会全体を支援します。

会社名 : デロイト トーマツ コンサルティング 合同会社

所在地 : 東京都千代田区丸の内 2-4-1 丸の内ビルディング 17階

代表者 : 代表執行役社長 近藤 聡

設立 : 1993年

事業内容: あらゆる業界、サービスに向けた提言から戦略立案、実行までを一貫したコンサルティングサービス

URL : <http://www.deloitte.com/jp/dtc>

【サービス提供に関するお問い合わせ先】

デロイト トーマツ コンサルティング 合同会社

デロイト エクスポネンシャル

担当: 藤岡 稔大、井上 智

TEL: 03-5220-8600

株式会社スリーディー・システムズ・ジャパン

3Dプリンター事業本部

担当: 秋山 仁

E-Mail: jin.akiyama@3dsystems.com

【報道機関の方からのお問い合わせ先】

デロイト トーマツ コンサルティング 合同会社

マーケティング & コミュニケーション 高橋、真木

Tel: 03-5220-8600

Email: DTC_PR@tohatsu.co.jp

デロイト トーマツ グループは日本におけるデロイト トウシュ トーマツ リミテッド(英国の法令に基づく保証有限責任会社)のメンバーファームおよびそのグループ法人(有限責任監査法人トーマツ、デロイト トーマツ コンサルティング 合同会社、デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー 合同会社、デロイト トーマツ 税理士法人およびDT 弁護士法人を含む)の総称です。デロイト トーマツ グループは日本で最大級のビジネスプロフェッショナルグループのひとつであり、各法人がそれぞれの適用法令に従い、監査、税務、法務、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザー等を提供しています。また、国内約40都市に約8,700名の専門家(公認会計士、税理士、弁護士、コンサルタントなど)を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はデロイト トーマツ グループ Web サイト(www.deloitte.com/jp)をご覧ください。

Deloitte(デロイト)は、監査、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザーサービス、リスクマネジメント、税務およびこれらに関連するサービスを、さまざまな業種にわたる上場・非上場のクライアントに提供しています。全世界150を超える国・地域のメンバーファームのネットワークを通じ、デロイトは、高度に複合化されたビジネスに取り組むクライアントに向けて、深い洞察に基づき、世界最高水準の陣容をもって高品質なサービスを Fortune Global 500® の8割の企業に提供しています。“Making an impact that matters”を自らの使命とするデロイトの約225,000名の専門家については、Facebook、LinkedIn、Twitter もご覧ください。

Deloitte(デロイト)とは、英国の法令に基づく保証有限責任会社であるデロイト トウシュ トーマツ リミテッド(“DTTL”)ならびにそのネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびその関係会社のひとつまたは複数指します。DTTL および各メンバーファームはそれぞれ法的に独立した別個の組織体です。DTTL(または“Deloitte Global”)はクライアントへのサービス提供を行いません。Deloitte のメンバーファームによるグローバルネットワークの詳細は www.deloitte.com/jp/about をご覧ください。

Member of
Deloitte Touche Tohmatsu Limited